



えびす講

えびす講とは、10月20日ないし11月20日に催される祭礼または民間行事で秋の季語です。商売繁盛の神様＝えびす様を奉り商売繁盛、家内安全を祈念するお祭りだそうです。

えびす様といえば、鯛と釣竿を持っている姿で有名です。

七福神の一人である恵比寿様は、神様が出雲の国に集まる神無月に、ただ一人出雲に行かず留守を預かる留守神です。

商売繁盛、家内安全の神様で、特に商家では大切に崇められているそうです。



平成 27 年 9 月 20 日～24 日

秋の合同慰霊祭の行事をとり行わせていただきました。

連休となったシルバーウィークの4日間は天候に恵まれ多くのご家族が来園しお参りされました。

期間中の読教に於きましてはお書きしました戒名紙を全て読み上げご供養させていただきました。

爽り行く秋、稲穂のこうべが垂れもうすぐ収穫の時期。ご家族と可愛い子たちの縁が作物と同じように実を結んでいただけますように供養をさせていただきました。

また、行事開催におきまして様々な形で協力して下さいましたご家族の皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。



SNS 9 月 6 日投稿より抜粋

ここ2、3日中に「園内で鳩の群れが歩いている」と、言った目撃例が何件かありました。

最奥の供養塔の辺りを仔カモのように行列を成し、

見たところ巣離れたしたばかりの仔鳩ではないか・・・そんな見解でした。

そして昨日の朝、第2駐車場の水溜まりで水をすすする

2羽と本堂と納骨堂の屋根に居る2羽の鳩を見つけました。

よく観察しますと足にリングなどをしていない事から野生の者と分かります。

この周辺の森にはハシブトカラサや猛禽類のミミズク、

地上にはタヌキや小型のイタチが息息し野生の世界

で襲われないか唯々見守る事しかできません。

仔鳩たちは今も飛び立つ方向を見定められず屋根の上におります。

